

1. シラス

11月の県内におけるシラスの漁獲量は592トンで、この時期としては平年を上回っています。伊勢湾内と渥美外海に漁場が形成されていました。

12月に入ってから、11日までに3～4回の出漁があり、1カ統あたりの漁獲量に上昇がみられています。これは、11月下旬～12月のはじめにみられた、渥美外海沿岸への暖水流入の影響と推測されます。

しかし、暖水の流入も現在では弱まっており、今後は、外海、内湾ともに水温低下が進んで、間もなく今期の漁も終息に向かうものと考えられます。

表1 愛知県シラス漁獲量 (トン) \*2014年12月は11日情報収集分まで。

年\月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合計
2009	0	0	0	58	63	1,228	1,602	808	351	198	116	84	4,508
2010	0	0	0	7	440	753	256	220	782	1642	365	39	4,503
2011	1	0	0	169	583	1,168	1,219	517	677	547	478	279	5,637
2012	9	0	0	110	444	832	1,383	1,167	679	1142	496	181	6,443
2013	4	0	0	723	1,667	374	250	295	1,248	322	353	127	5,363
2014	0	0	0	594	2,828	527	18	891	672	1400	592	(199)*	7,721
10年平均	5	0	7	353	1,084	928	699	609	611	549	327	151	5,324

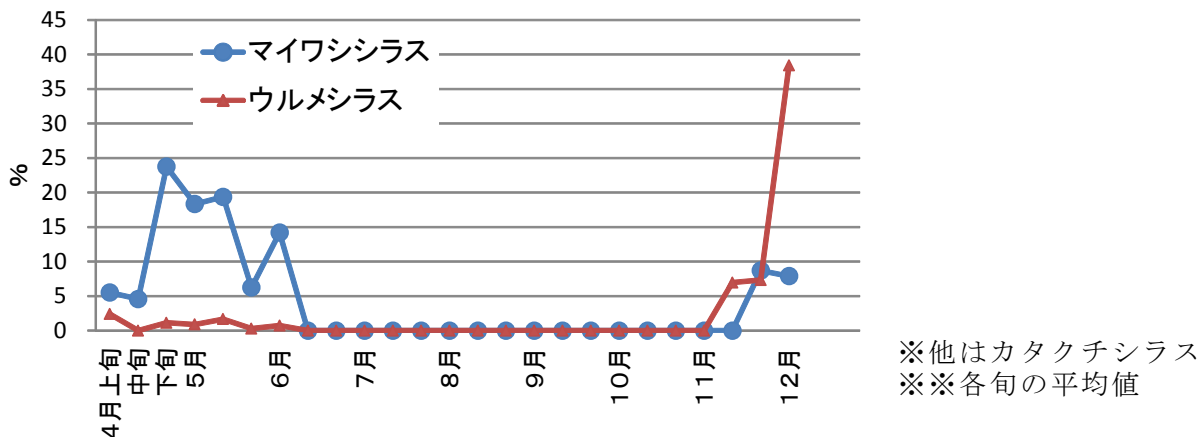


図1 シラス漁獲物におけるマイワシシラスおよびウルメシラスの混入率(2014年愛知)

2. マイワシ

11月の県内におけるマイワシの漁獲量は約400トンで、この時期としては漁獲のなかった前年や平年を大きく上回りました。伊勢湾が漁場となり、まき網で約300トン、パッチ網で約100トンが水揚げされています。

12月に入ってから伊勢湾の中南部で漁場が形成されており、もうしばらく湾内で水揚げが続くと考えられます。しかし、今月の気象予報では低温傾向が予想されていることなどから、今後、湾内の水温低下も順調に進み、イワシ類の湾外への移動も活発になると見込まれます。

なお、11月下旬、および12月上旬のシラス漁獲物には、ウルメシラスとともに、マイワシシラスの混入がみられています(図1参照)。11月に県内でマイワシシラスが確認されたのは、ここ20年間では2011年と本年のみとなっています。

近年、全国的に顕著となってきたマイワシ資源増大の影響が、本県のシラス漁にも表れたものと考えられ、来年以降もマイワシ資源の動向が注目されます。

表2 愛知県マイワシ漁獲量 (トン) \*2014年12月は11日情報収集分まで。

年\月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合計
2009	0	8	0	0	6	0	6	18	1	0	3	0	41
2010	0	0	0	0	0	2	288	653	675	247	17	0	1,881
2011	0	0	1	0	2	29	361	1,223	1,091	264	68	4	3,044
2012	0	0	0	0	0	72	49	499	214	52	0	0	886
2013	0	0	0	0	1	8	107	577	295	3	0	0	992
2014	0	0	0	<1	0	104	269	1,547	1,334	617	422	(124)*	4,418
10年平均	0	1	0	0	2	22	140	414	290	104	29	6	1,006

### 3. カタクチイワシ

11月の県内におけるカタクチイワシの漁獲量は約2,000トンで、前年の同じ時期は下回ったものの、平年を上回りました。漁場は伊勢・三河湾内に形成され、魚体は秋シラスから成長した体長4～5cm台の未成魚から、10～11cm台の成魚まで、幅広くみられています。

12月に入ってから、まずまずの水揚げが続いており、上旬だけで500トン程度の漁獲となっています。マイワシと同様、今後は例年どおり、魚群の湾外への移動が進むものと考えられます。

表3 愛知県カタクチイワシ漁獲量 (トン)

年\月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合計
2009	0	160	0	610	3,155	1,846	3,752	3,430	3,041	1,964	734	129	18,820
2010	0	0	0	0	1	1,529	4,844	4,819	1,775	590	1,497	973	16,028
2011	37	92	116	561	768	1,945	3,610	4,935	572	159	294	401	13,491
2012	46	0	0	260	1,471	1,792	1,824	3,704	2,197	483	851	354	12,983
2013	0	0	0	0	803	2,680	4,794	5,382	2,382	1,082	2,811	1,768	21,702
2014	446	0	0	655	269	2,864	5,389	3,742	3,009	2,609	1,971	(519)*	21,473
10年平均	50	33	12	148	750	1,818	3,653	3,815	2,161	1,316	1,138	669	15,563

\* 2014年12月は11日情報収集分まで。

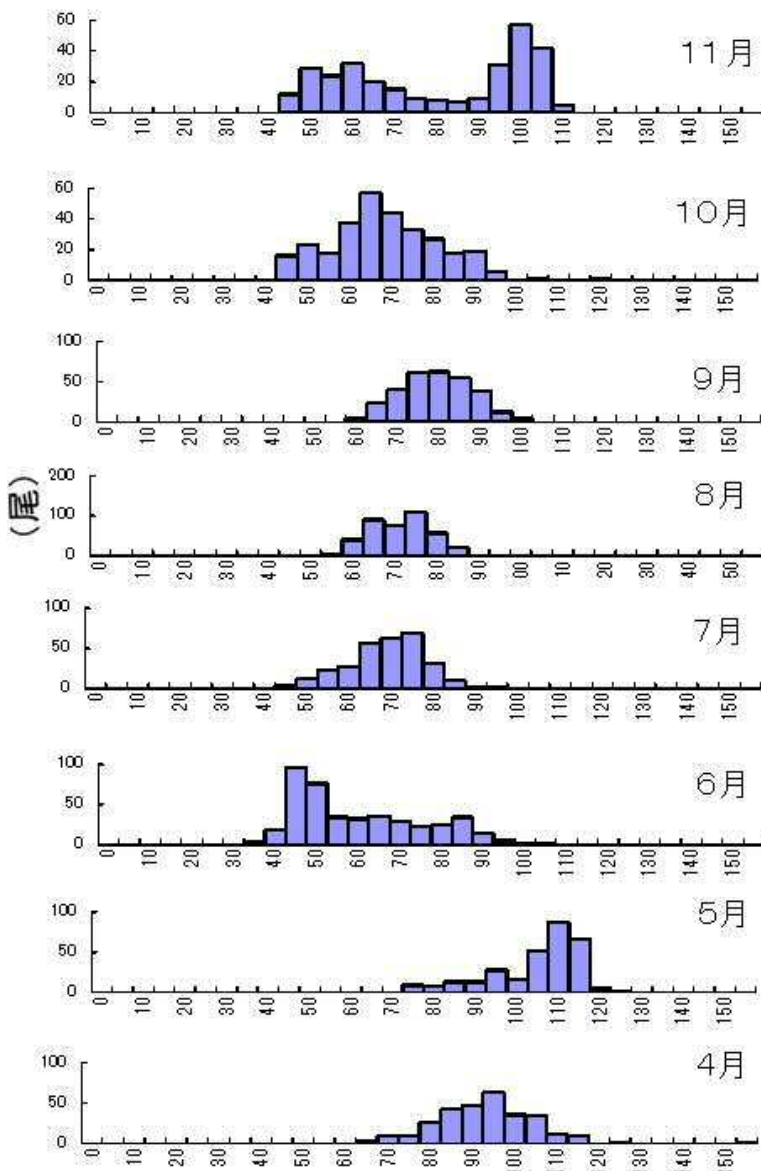


図2 2014年カタクチイワシ体長組成

## 4. 海況予測

以下の海況予測によると、黒潮の流路は、今後も1月はじめまでは直進型が続き、渥美外海への強い暖水流入もみられないと見込まれています。そのため、この間、渥美外海の水温は低め傾向で推移すると考えられます。

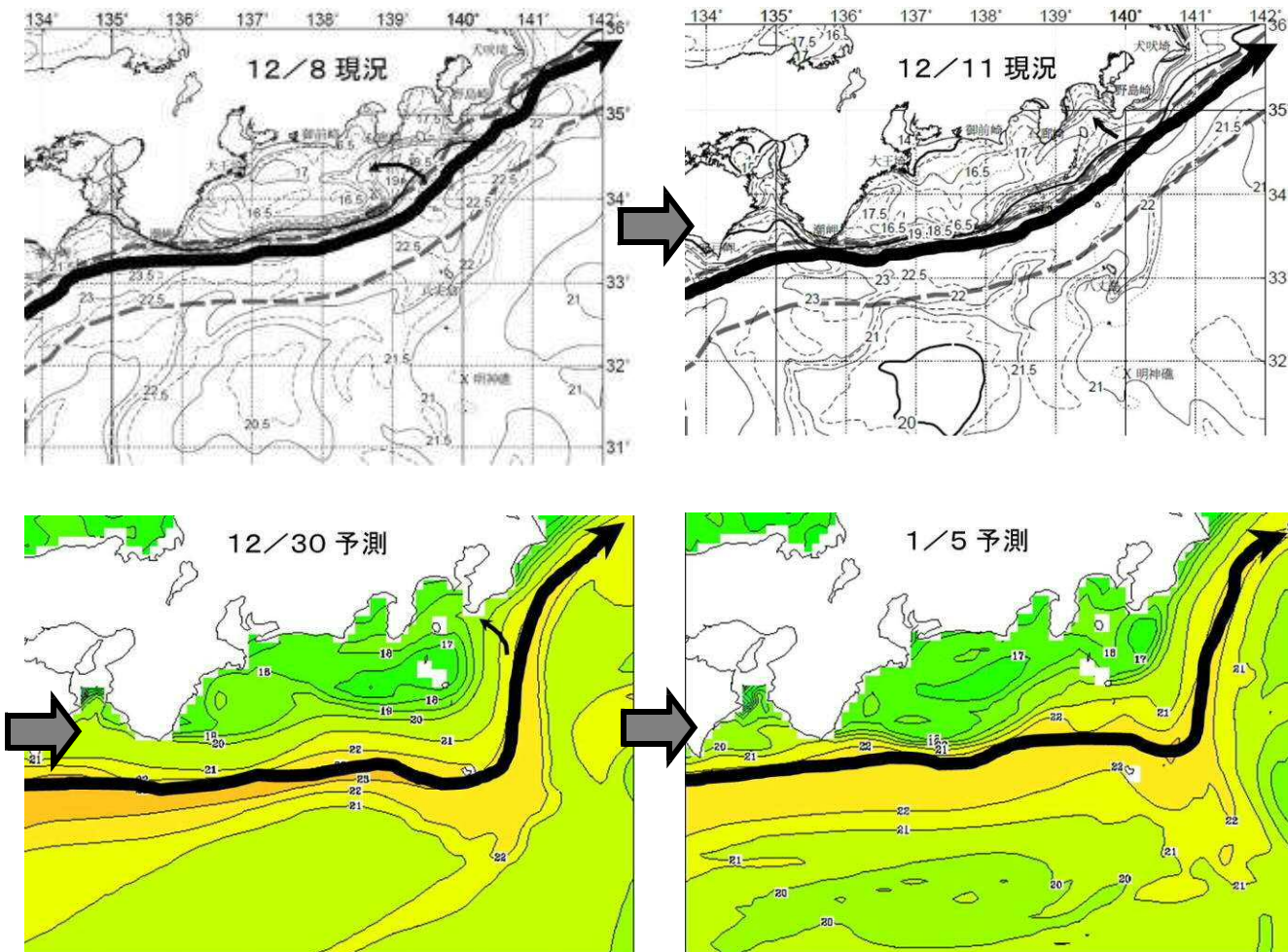


図3 海況の現況及び予測 [2014年12月8日～2015年1月5日]

※矢印は黒潮流路と暖水流入。現況図は(社)漁業情報サービスセンター提供の南西東海沿岸海況情報によるものです。予測図は「FRA-ROMS」システムによるものです。FRA-ROMSは、水産総合研究センターの運営する海況予測システムで、各県水試もデータを提供しています。水温は、水深50mの予測水温。